

第3回宗像市市民参画等推進審議会次第書

日 時	平成20年12月18日(木) 10:00～
場 所	宗像市市民活動交流館201会議室
委 員	☐ 井上豊久、 ☐ 白坂義正、 ☐ 立石公孝、 ☐ 中里留美子 ☐ 橋本潤、 ☐ 東博子、 ☐ 光本伸江、 ☐ 吉田まりえ

(五十音順、敬称略)

1. 今後の審議会で行う課題等について

(1) 意見交換

(2) 次回の審議会について

2. その他

*配布資料

- (1) 市民サービス協働化提案制度により採択を受けて実施された事業の点検について
- (2) 提案事業企画書
- (3) 宗像市市民サービス協働化提案制度審査委員会平成19年度審査結果報告(意見書)

第3回宗像市市民参画等推進審議会会議録

日 時	平成20年12月18日（木）10:00～12:00
場 所	宗像市市民活動交流館201会議室
出席者	【委員】 井上豊久、白坂義正、立石公孝、中里留美子 東博子、吉田まりえ 【事務局】 松永、河野、神谷、橘、井上、松井

1. 今後の審議会で取組む課題等について

(1) 意見交換

前回の会議に引き続き、今後の審議会で取組む課題等について意見交換を行った。その結果、主に次の事項について審議会で検討を行うことになった。

①全般

- * 市民参画条例の周知啓発について（周知啓発が不十分（職員の認識不足も含む））
- * 条例における情報公開の位置付けについて

②市民参画・・・7月～9月に審議

- * バブコメについて（市民の意見が少ない）
- * 市民政策提案手続について（提案があっていない）

③協働

- * 市民サービス協働化提案制度の見直しについて・・・1月・2月に審議
- * 市民活動のサポート体制について
- * 人づくりでまちづくり事業補助金の見直しについて・・・3月に審議
- * 市民活動団体とコミュニティとの連携について
- * 企業との協働について

④コミュニティ・・・4月～6月に審議

- * 監査を含めたコミュニティの説明責任について（ルールづくり）
- * 住民の参画について（女性の役員が少ない、役員以外の住民が参加しづらいなど）
- * 組織運営について（組織の活性化・民主的な運営を行うための工夫など）
- * 活動を継続的にやっていくための参加者（スタッフ）への実費弁償相当の支給など

その他、主な質疑内容、意見等は次のとおり。

＊市民参画等に関する職員の意識はどうか？

⇒条例で制度化されたので、パブコメなどの取り組みは行っているが、職員の意識として積極性は不十分である。市としても後期（平成 21 年～平成 26 年）のマスタープランで位置づけるなどしていく。

＊まだまだ市民参画・協働に対する市民の関心が低い。だから、パブコメ等も少ないと思う。

＊コミュニティの監査に関する具体的なルールは？

⇒現在、市で監査の着眼点と監査執行規程のガイドラインをつくっており、これらに基づき、平成 21 年度から各コミュニティで監査の着眼点・監査執行規程をつくっていく。

＊監査を行うコミュニティの体制をどう整えていくのか？

⇒コミュニティの役員改選後、監査になった者に対して、市の監査委員事務局の協力を得ながら研修会を実施する。

＊単年度会計であるまちづくり交付金はなかなか経営努力が反映されにくい。執行残があった場合、翌年度に繰り越せるのか？

⇒1 割以内は繰り越し可能である。

（２）次回の審議会について

①平成 19 年度市民サービス協働化提案制度（平成 20 年度事業実施分）の事業の振り返り・点検（評価）をする事業実施団体からヒアリング・意見交換を行い、それを踏まえ平成 21 年度の制度改正に向けた検討を行うため、1 月に団体からのヒアリング・意見交換会、2 月に審議会としての意見を出すための協議を行うことになった。

②今年度の市民サービス協働化提案制度審査委員会から意見書の中で、行政の果たす役割＝公共のあり方について、『行政が果たすべき役割は何か』は 審査委員会の範疇を超えるので、市民参画等推進審議会で議論してほしい。」と提言されているので、1 月・2 月の会議については、市民サービス協働化提案制度審査委員会と合同で行うことになった。

③事務局から市民サービス協働化提案制度の内容、平成 19 年度提案事業の内容・実施状況について説明。その中で、昨年度の諮問の際、市長が発言した「宗像流の提案制度」とは、「先進自治体が行政改革・経費削減を第一の目的としているのに対し、本市は協働を第 1

の目的とし、結果として経費削減を求めていくもの」であると説明があった。

④団体が振り返り・点検（評価）をする際のシート案について事務局から説明があった。

このシートは団体・事業内容の序列を付けたり、評価を下すものではなく、今後より質の高い市民サービスを提供するための振り返り、点検を行うものであるとのこと。

主な質疑内容、意見等は次のとおり。

*シートは公開をするのか？

⇒公開をする。

*チェック項目に「継続性・発展性」を入れたほうがいいのではないか。

*「チェック」は「チェック項目に対する満足度・達成度」のほうがいいのではないか。

*チェック項目に事業の成果をどう見るのかという視点がない。目標設定はされていないのか？

⇒当初、「評価については、この制度独自とするのではなく、事務事業評価のなかで行っていく」と説明してきたので、提案事業に対する目標設定は団体・担当課双方とも認識はしているが、それを書面にしていない。そのため、事務局で検討した結果、事前に書面で目標設定されていないので、今年度はチェック項目にはしないことになった。来年度以降は項目として設定していく。

2. その他

特になし

次回の会議日程については、市民サービス協働化提案制度審査委員会と調整の上で決定する。